

教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について(諮問)

6月3日中央教育
審議会に諮問

学校教育における課題の複雑・多様化

- ・ 教員が対応すべき課題の多様化(生徒指導上の諸課題、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応、ICTの活用など)
- ・ 地域・保護者とのより緊密な連携の必要性
- ・ 教員の実践的指導力・コミュニケーション力の強化の必要性

学校現場を取りまく環境の変化

- ・ 教員への信頼の揺らぎ(不祥事、指導力不足教員の問題を含む)
- ・ 社会の高学歴化に伴う教員の地位の相対的低下
- ・ 教員間の同僚性の希薄化(同僚間で指導し合う文化の消失傾向)

教員の質の充実

教員の数の拡充(別途検討)

教員が生涯を通じて資質能力を高めながら自信と誇りを持って教壇に立ち、社会からの信頼を得られるような環境を整えていくことが急務

教員の資質能力の向上方策の検討に当たっては、教員が教職生活の全体を通じて不断に専門性を高めていくことを支援するシステムづくりが喫緊の課題 ~ 初等中等教育政策、高等教育政策の一体的な改革 ~

教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について中央教育審議会に諮問
中央教育審議会 総会の下に「教員の資質能力向上 特別部会」を設置して検討

【審議事項】

1. 教職生活の各段階で求められる専門性の基盤となる資質能力を着実に身に付けられるような新たな教員養成・教員免許制度の在り方について
教職課程の期間・内容等の充実、教職大学院の在り方の検討、課程認定の厳格化 など
2. 新たな教員養成の在り方を踏まえ、教職生活の全体を通じて教員の資質能力の向上を保証するしくみの構築について
教員免許制度の見直し、現職研修の充実、免許更新制の検証と在り方の検討 など
3. 教育委員会や大学をはじめとする関係機関や地域社会との組織的・継続的な連携・協働のしくみづくりについて
関係機関や地域が一体となって教員を育て支援する環境づくり、多様な人材の登用 など

その他の方策

- ・ 地域や保護者の声を反映した学校運営の在り方
- ・ 人事管理の改善・充実
- ・ 教員が安心して教育活動に専念できる環境づくり
- ・ 教員が協働して学び合える環境づくり
(同僚性の回復)